

## ロボットと一緒に働く世界は、もう、はじまっています

## SDGsラジオを聴いてみよう！

人口が減ると、どんな問題が起こるでしょうか？

そのひとつは、働く人がいなくなってしまうことです。

どんどん人口が減っている日本では今、働く人が足りなくなることが心配されています。

そこで、「ロボットの導入」と「商品の開発」というふたつの方向からこの問題に取り組んでいるのが、

窓の会社「YKK AP(ワイケイケイエーピー)」です。

例えば、YKK APが開発したロボット「MABOT(マボット)」は、窓の取り付け工事を手伝ってくれるんですよ。

ロボットに危ない作業をまかせることで、取り付け工事をする人々の安全を守ることができるんです。

さらにYKK APでは、簡単に取り付けられるドアやシャッターなどを開発して、工事にかかる手間や時間を大幅に減らしています。

ロボットやテクノロジーの力を借りて、「人手不足」を大解決。

そして、もっと安心・安全に働ける社会に。

ロボットと一緒に働く世界って、なんだかワクワクしませんか？

## SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



人口が減少すると、さまざまな問題が起こります。そのひとつが、働く人が足りなくなることです。日本では現在、人口が減っているため、仕事をする人手の不足が心配されています。働く人が少ないと、お店や会社でたくさんある仕事が終わらなったり、サービスの質が悪くなったりします。社会はもちろん、みなさんの生活にも影響が出るかもしれません。この問題をどうやって解決していくか、今社会ではいろいろな方法で取り組んでいます。

そこで、窓の会社「YKK AP」は「ロボットの導入」と「商品の開発」の2つの方法で人手不足の問題解決に取り組んでいます。例えば、窓の取り付け工事を手伝うYKK APのロボット「MABOT(マボット)」は、人の代わりに作業を行います。危険な作業をやらせらることで、作業員の安全も守れます。商品の倉庫ではロボットが荷物を運んで、作業をしている人のところまで届けてくれるため、もっと早く仕事ができるように。また、簡単に取り付けられるドアやシャッターを開発し、工事の手間や時間を減らす工夫もしています。

ロボットに仕事を代わりにしてもらったり、作業を早く簡単にできるようにすることで、少ない人数でもたくさんの仕事ができるようになり、仕事もうまく進むようになります。ロボットや技術の力で、人の働きやすさも変化させているのです。



窓枠設置ロボット「アラミメーター-01」



自動窓枠固定ロボット「フェルフィクサー-01」

がぞうさんしょう  
画像参照：MABOT(マボット)イメージ画像  
がぞう  
(YKK APのHPより)

## キーワード

じんこう  
人口

人口は、その場所に住んでいる人の数のことです。例えば、ある町や国にどれくらいの人が住んでいるかを数えて、その数が人口になります。

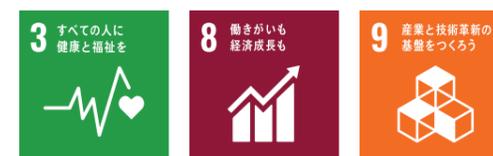
ひとでぶそく  
人手不足

人手不足は、仕事をする人が足りないことです。たくさん仕事があるのに、それをやる人が少ないと、仕事が進まなくなったり困ったりします。

どうにゅう  
ロボットの導入

ロボットの導入は、作業や仕事をロボットに手伝ってもらうことです。例えば、工場で物を作ったり、病院でお手伝いをしたりします。ロボットは速くて正確に動けるので、人の仕事が楽になったり、ミスが減ったり、仕事を早く終わらせることができます。

## 対象ゴール



## みなさんにできること！

ロボットにどんなことを手伝ってほしいか、考えてみましょう。

おさらい

- 人口が減少すると、働く人が不足してしまう可能性がある。
- YKK APではロボットの導入と商品開発で、人手不足問題に取り組んでいる。
- 危険な作業をロボットにやらせらることで、作業員の安全を守ることができる。

## メモ



SDGs ラジオ